

第17回 JLTF クレストレディーステニス by カーブス

60歳の部 岐阜県予選

- 【主催】 日本女子テニス連盟岐阜県支部
- 【共催】 各務原市テニス協会
- 【後援】 日本女子テニス連盟 岐阜県テニス協会 岐阜新聞社、岐阜放送
- 【大会委員長】 藤原 ちえみ
- 【ディレクター】 牧村 洋子 Tel:090-5634-8558
- 【レフェリー】 安藤 千賀子
- 【大会委員】 梅田 宗子 小路さおり 松下祐紀
- 【種目】 女子ダブルス
- 【日時】 2026年9月29日(火) 予備日10月6日(火)
受付 8:20~8:55 9:00~開会式 終了後試合開始
- 【会場】 岐阜車体スポーツ広場(砂入り人工芝) 各務原市各務山の前町 1-47-1
〒509-0105 各務原市各務山の前町 1-47-1 TEL:058-370-2818
- 【使用球】 ダンロップフォート
- 【試合方法】 すべての試合にノーアドバンテージ方式を採用
本戦 6ゲーム先取、コンソレーション 6ゲーム先取(敗者ボール使用)
ウォームアップはサービス4本とする
セルフジャッジ
- 【参加資格】 1. 日本女子テニス連盟岐阜県支部の会員であること 自己の主として居住する都道府県から出場する
2. 60歳以上(1966年12月末日以前出生の方)
3. 全国大会優勝者はパートナーを変更のこと
- 【服装】 テニスウェア(長ズボン可、ロゴ規定なし、フェイスマスク着用不可)
- 【全国大会】 優勝者は第17回 JLTF クレストレディーステニス by カーブス 2026 全国大会に出場していただきます
11月11日(水)・12日(木) 大阪万博テニスガーデンで開催
交通費の補助があります
- 【その他】 本大会はすべてのプレイヤーを公平に扱います
試合中に発生した傷害についてはその場で対応はしますが、それ以後の責任は負いません
天候等やむを得ない事情により変更されることがあります
◎天候不良による中止や緊急の連絡は JLTF 岐阜県支部ホームページに掲載します
この大会で得た個人情報には大会以外の目的には使用しません

☆注意事項☆

1. 受付時間までに試合のできる服装に着替え、二人そろって本部に届け出る。遅刻は失格とする。
2. 試合順序は本部掲示板を確認し、指定されたコート付近で待機する。
3. 前の試合終了後、直ちにコートに入り試合を始める。対戦相手が来ない場合はロービングアンパイアを呼ぶ。
4. ポイント間は 25 秒以内とし、エンド交代時は 90 秒以内の休憩とする。第 1 ゲーム終了後とタイプレーク中は休憩なしでエンドを交代する。
5. 試合終了後、勝者は直ちにスコアシートを本部に届け、次の試合の確認をする。

☆セルフジャッジについて（選手自身が判定とコールをします）

1. サーバーはサーブを打つ前にスコアをレシーバーに聞こえる声で言う。選手同士その時点のスコアを確認する。
2. ネットより自分側の判定とコールをする。
ボールがラインにタッチした時、見失って判定できなかった時は「グッド」
ボールとラインの間にはっきりと空間が見えた時は「アウト」「フォルト」
3. 判定とコールは、相手にはっきりと分かる声とハンドシグナルを使って、ボールの着地後速やかに行う。代表的なハンドシグナルは、人差し指を出して「アウト」「フォルト」、手のひらを地面に向けて「グッド」
4. ダブルスの判定とコールは、1 人の選手が行えば成立する。しかし、ペアの両選手の判定が食い違った場合はそのペアの失点となる。
ただし、ネット、ストラップまたはバンドに触れたサービスを、1 人が「フォルト」、パートナーは「レット（グッド）」とコールした場合は「（サービスの）レット」となる。
5. ペアの判定が食い違ったとしても「フォルト」「アウト」をコールした選手が「グッド」に訂正し返球が正しく相手コートに入った場合、1 回目は相手への故意ではない妨害としてポイントレットにする。そして、2 回目以降は故意に妨害したとして失点する。ただし、ミスジャッジの前に打たれたボールが明らかなウイニングショット・エースまたは返球がアウトした場合は相手への妨害が起こっていないので、1 回目であってもミスジャッジをしたペアの失点となる。
6. 「ネット」「スルー」「タッチ」「ノットアップ」「ファウルショット」は、両選手・チームが判定とコールをすることができる。
7. サービスのレットはレシーバー側がコールする。
8. インプレー中、他コートからボールが入ってくるなどの妨害が起こった場合は、「レット」とコールしてそのポイントをやり直す。
ただし、レットがコールされる前に打たれたボールが、コート内に正しく入らなかった場合は、そのボールを打った選手・チームの失点。明らかなウイニングショット・エースとなった場合は、そのボールを打った選手・チームの得点。
ポイントが終了した後で、インプレー中に妨害があったとしてやり直しの要求はできない。
第 2 サービスのモーションに入った後に妨害があった場合は、第 1 サービスからやり直す。
9. 第 2 サービスからのインプレー中、第 1 サービスのフォルトのボールを誤って蹴飛ばした場合、相手選手がプレーを妨害したと判断した場合、「レット」をコールすることができる。2 回目以降は、その度に相手への故意による妨害となり、失点する。
10. 次の場合はレフェリーまたはロービングアンパイアに速やかに申し出る。
 - ・試合中、トイレ・着替えなどでコートを離れたい時
 - ・相手選手の言動やコール、フットフォルトなどに疑問、不服がある時
11. 試合中に発生したケガや病気の時は、レフェリーまたはロービングアンパイアに要求後、次のエンド交代時（緊急を要する場合は直ちに）、1 部位の症状につき 1 回の M T O が取れ、3 分間の手当てをすることができる。
筋ケイレンの場合、エンド交代の時間内に限り処置をしてもよいが、M T O をとることはできない。
12. レフェリー、ロービングアンパイアは、コート内外からフットフォルトのコールや選手の判定をオーバールールできる。オーバールール時の対応は、セルフジャッジについての「5.」と同じ。

☆試合中にわからない事や困った事が起きたら

ロービングアンパイア(コート付近の通路にいます)を呼んでください。

第17回JLTFクレストレディーステニスbyカーブス

60歳の部 岐阜県大会

2026.9.29

SF

F

- ① 1 梶田 恵・白岩 美幸 (WiM岐阜・フリー)
- 2 多賀 広子・小島 一見 (岐阜西TC・山下クラブ)
- 3 緩利 聡子・田村 英子 (三和TS・アスクグリーン)
- 4 中島 恵子・押谷めぐみ (アイエヌオー・長良川LTC)
- 5 木下さゆり・樋口 綾子 (TPOS)
- 6 加藤千恵子・小林 かよ (松枝塾・西濃クラブ)
- ⑥ 7 亀村 千穂・中嶋美佐子 (WiM岐阜)
- ④ 8 山田 典美・崎原 真紀 (アスクグリーン・SJC)
- 9 三 鴨 緑・藤井 敦子 (山下クラブ・スポーツシロー)
- 10 毛利 京子・熊田 幸子 (羽島市テニス協会・アスクグリーン)
- 11 小島 聡美・古田満知子 (Link TS・スポーツシロー)
- 12 中月利枝子・二村 洋子 (西濃クラブ)
- 13 唐沢 恵実・渡辺 真澄 (ホワイトウッド・T・OS)
- ⑤ 14 渡辺美由紀・服部佳代子 (郡上市テニス協会)
- 15 久納 智子・高桑 陽子 (長良川LTC)
- 16 伊藤 行子・岩本 裕子 (西濃クラブ・WiM岐阜)
- 17 酒向 露美・青野真由美 (山下クラブ・チームi)
- 18 加納 明美・山田 美鈴 (西濃クラブ・Link TS)
- 19 嶺川美奈子・前島百合子 (TPOS)
- 20 三澤 裕子・中島 綾子 (チームi・フリー)
- ③ 21 浅野しのぶ・佐藤香保里 (山下クラブ)
- ⑦ 22 藤田 緑・中島 君子 (アスクグリーン)
- 23 門崎 朱美・島袋 道子 (長良川LTC・Link TS)
- 24 松永加奈子・伊藤智恵子 (西濃クラブ)
- 25 井平早百合・田中れい子 (Link TS・長良川LTC)
- 26 大城 佳美・加藤 綾 (T.S NAWA・フリー)
- 27 加藤万由弓・大坪美智代 (TPOS)
- ② 28 名和 恭子・木野 孝子 (WiM岐阜・Link TS)

第1シード 梶田 恵・白岩 美幸

第2シード 名和 恭子・木野 孝子

第3シード 浅野しのぶ・佐藤香保里

第4シード 山田 典美・崎原 真紀

第5シード 渡辺美由紀・服部佳代子

第6シード 亀村 千穂・中嶋美佐子

第7シード 藤田 緑・中島 君子

全国大会 岐阜県代表者

第10回 2018年	久納 智子・高桑 陽子
第11回 2019年	渡辺 美由紀・服部 佳代子
2020年岐阜県大会	渡辺 美由紀・服部 佳代子
第12回 2021年	今井 智美・竹内 文恵
第13回 2022年	井平 早百合・田中 れい子
第14回 2023年	今井 智美・竹内 文恵
第15回 2024年	浅野 しのぶ・佐藤 香保里
第16回 2025年	梶田 恵・白岩 美幸